

第5期第4回 札幌市市民活動サポートセンター事業運営協議会

概 要

日時：平成23年12月16日（金）

19：00～21：00

場所：札幌エルプラザ2階会議室1・2

1 開 会

事務局より、開催のあいさつ。

2 議 事

(1) 平成23年度事業実施状況報告

平成23年度事業実施状況について説明し、委員のみなさんよりご質問およびご意見をいただいた。

●市民活動相談について

- Q 「市民活動相談報告」は、「事業・イベント」や「活動場所」など相談項目がいくつか分かっているが、「その他」という項目はどういう相談内容か。
- A 市民活動以外の質問や相談で、他の分類の中に留まらない相談内容を、「その他」に加えている。

●サテライト事業・人材育成事業について

- Q サテライト事業は、具体的に地区センターやまちづくりセンターで何を行うのか。
- A 地区センターやまちづくりセンターを訪問し、地域のニーズを捉える。また、ニーズに応えるため、市民活動サポートセンターで活動している市民活動団体と協働で人材育成事業を実施する。市民活動サポートセンターの周知はもちろんのこと、NPOの活動の場を作る。
- Q 地域のニーズに応えるために、そのニーズに適した団体を集めるのか。それとも、地域で活動したい市民活動団体のニーズを探して活動を行うのか。具体的な計画はあるのか。
- A 今後、地域のニーズおよび市民活動のニーズを知るために、各施設に足を運んだり、市民活動団体と積極的に関わっていく必要がある。

- Q まちづくりセンターの実態を、ひとつひとつ把握していくというのは相当努力をしたうえで計画を作らないと、うまくいかないのでは。
- A 私たち指定管理を受けている施設の中に、児童会館など地域基幹施設もある。地域の状況は、そうした施設からも情報を得ようと考えている。それだけでは不足する部分もあるので、そこは私たちがきちんとした企画を持って行いたいと思っている。

【意見等の要旨】

- ・市民活動をしている方々が地域の施設と繋がるということがなかなか出来ない中で、コーディネートしていただくことにより、団体の活性化にもつながるので、事業の実施を望む。
- ・ニーズがはっきりしていて連携しやすい場所で、具体的に何かを一緒に行い、ケースを作るのがよい。児童会館などの施設も、町内会など地域の方々も、お互いのニーズがわからないときもあるので、うまくマッチングが出来るのであれば、具体的な活動を行っていくことができたらいいのではないかと。
- ・多くの市民が自ら行動しやすい環境を作ることが大事であり、たとえば市民活動を行っている人たちにはこんな技術を持った人がいるなどの情報を出せば、それを参考にまちづくりセンターなどで考えることができる。

●市民活動情報誌について

- Q 助成金の特集を組んだ28号に対して、サポートしたい企業からの問い合わせなどは具体的にあったか。
- A 現段階では、反応はない。

【意見等の要旨】

- ・毎号「お役立ち情報」の記事が、同じぐらいのスペースで掲載しているほうが、そうした情報がいつも掲載されていると分かる人が増えるのでは。
- ・情報をいかにわかりやすく届けるかということが大事である。
- ・どんな団体がいて、どういう募集をしていて、今後何を行うという「動いている情報」を分かりやすく伝える情報誌であってほしい。

●その他事業について

Q 「市民まちづくり活動情報コーナー」に情報誌も配架しているのか。また、手に取られている率などは把握しているのか。

A 配架はしているが、現在のところ統計は取っていない。

Q 「札幌駅前通地下歩行空間市民活動活性化業務」の参加団体というのは、ブースなどがあり、各団体がそこに参加したということか。

A はい。各月で出展団体数が違うのは、会場によって出展可能なスペースが違うため。

Q 事前の打ち合わせなどのプロセスはあって、当日実施になるのか。

A 参加団体を募集した後、一ヶ月前に事前説明会を行い、ブースの出展場所や内容について確認しながら実施調整している。

Q 今後、地下歩行空間での催し物を出来るという可能性は。

A 今年度は2月まで実施する。来年度以降の予定は未定である。

【意見等の要旨】

- ・「札幌駅前通地下歩行空間市民活動活性化業務」において、市民活動団体が、市民の方々に活動を見てもらう事は意義のあることなので、続けていただきたい。
- ・企画に関する実行委員会が作られてもいいのでは。自主的な活動、連携は行っていたとしても、運営や企画を自主的に作り上げていく活動にしていくことは可能ではないだろうか。

●事務ブース入居団体交流会について

Q どのようなことを行ったか。

A 事務ブースに入居している団体の方々が、日ごろ触れ合う機会がない他の入居団体およびエルプラザの職員とも交流をはかりたいという思いから、自主的に企画してくださった。

当日は、お茶を飲みながら、自己紹介や各団体のPRを行いつつ、交流を深めた。

また、この交流会をきっかけに、その後の事業にお互いに協力したり、声をかけ合う姿が増えている。

【意見等の要旨】

- ・「事務ブース入居団体交流会」を拡大して、利用団体同士の交流会を実施していただきたい。同じ分野、同じ目的の団体同士も大事だが、異分野・異業種が交流できるチャンス

にもなる。

- ・利用者交流会のすすめ方としては、利用者側から提案するのがよい。
- ・団体同士と一緒に活動するきっかけ作りを事業化することをサポートセンターには期待する。

●市民活動プラザ星園について

Q 活動の実態はどのようになっているのか。

A 8月に「市民活動プラザ星園」としてオープンした。

機能としてはサポートセンターの補完機能として、貸会議室や、打ち合わせスペースや作業スペースの提供、3階および4階は、市民活動団体への貸事務所として利用していただいている

今後、市民活動サポートセンターと連携した事業展開を計画している。

(2) 広報の取り組みについて

事務局より、「メールマガジン」の発行と現状について説明し、新たな登録数が増えるための、有効な周知方法について検討した。

【意見等の要旨】

- ・必要な情報に早くたどり着くため、文字量を少なくし、なるべく内容を簡潔にする。
- ・目次の各施設からのお知らせの後に、二行目以降に事業等の見出しが書いてあると、その号に掲載されていることが分かりやすい。
- ・市民活動登録団体には、極力登録していただくような、働きかけをしてもよいのではないか。「配信を希望しません」という意思表示はできるようにして、基本的に登録していただく。
- ・月2回発行だと、情報としてはリアルタイムではない。
- ・いろいろな情報をまとめて送るよりも、例えば第一週の何曜日は、助成金についてとか、第二週の何曜日は、イベント情報など、内容を分けることで必要な情報だけ取れるようにすべきではないだろうか。

※第5期事業運営協議会は今回が最後のため、各委員から感想等をいただいた。

4 その他（報告事項）

- ・12月から、日曜日・祝日の閉館時間が22時から20時に変更になったことを報告。
- ・平成24年4月1日の特定非営利活動法人法（NPO法）の改正に伴い、市民活動サポートセンター内に、縦覧、閲覧場所を設置予定。

5 閉会

第5期事業運営協議会は今回が最後のため、委員の皆様にお礼を述べ、第5期第4期事業運営協議会を終了した。

第5期第4期事業運営協議会出席者

○事業運営協議会委員（五十音順）

石村委員、遠藤委員、河野委員、坂本委員、萩原委員、槇委員、村松委員、森田委員

○札幌エルプラザ公共4施設

市民参画課長、市民活動担当課長、市民活動係長、市民活動係職員